

# 郷土資料

## あれこれ 81

【問合せ】社会教育課

郷土史編さん係

☎77312197

郷土資料あれこれでは、これまでにならぬと昔の風景として、冬と春の風景を紹介してきました。今回は夏の風景を紹介します。

①この地域の夏の味覚の代名詞といえば、スイカと鮎になるかと思いますが、いかがでしょうか。



写真① 八色スイカの収穫の様子

写真①は、昭和37年夏の八色スイカの収穫の様子です。この年は、天候不順が続き、病気の蔓延、開田事業での作

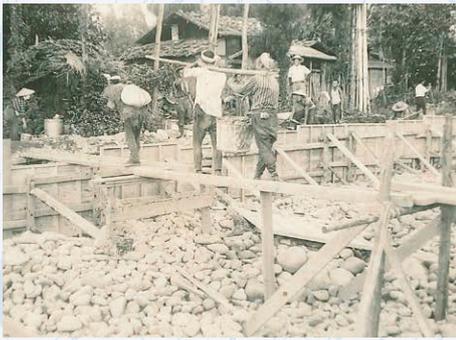
付け不能であったり、また、清涼飲料水も人気が高くなってきたこともありスイカの需要は減ってきたそうです。この年の7月下旬で、1玉3.75kgのスイカの値段は110円だったそうです。

②初夏を過ぎた6月下旬ころは、春繭の出荷を迎える時期です。写真②は、昭和34年6月下旬、繭の集荷が最盛期を迎えた六日町繭市場の様子です。養蚕農家によって丹精込めて育てられた繭が集められ、検定のため長岡市の県繭検定所に送られるのだそうです。この時点で101,250kgの集荷があり、繭質、糸量、解じょ（糸のほぐれ具合）格も良好だったそうです。



写真② 六日町繭市場の様子

③大木六小学校では、創立80周年記念事業として、防火用水を兼ねたプールの造設を昭和28年初めから行いました。大木六小学校の近くを流れる川は、水深が浅いため子どもたちが泳ぐことは難しく、魚野川まで行くにも遠いことから、思う存分、水泳を楽しんでもらおうと計画されたそうです。プールの大きさは10×25m、工費は24万円、校区の各家庭から一人ずつ、連日作業にあたったそうです。写真③は、8月末の完成に向けた作業の様子です。



写真③ 大木六小学校プール工事の様子

《参考資料》『魚沼新報』

写真は個人所有

### 『大和町の近世』を発売

『大和町史』は、これまでに原始・古代・中世を中心に記述した「上巻」、近世を中心にした「中巻」が発刊されています。これに続き明治から平成の合併で閉町となるまでを記述した町史を発刊すべく、地域の多くのみなさんからご協力をいただきながら資料調査を進めてきました。江戸時代（近世）の貴重な資料を目にする機会も多く得ることができました。

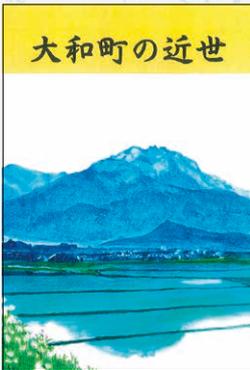
調査の結果を踏まえ、『大和町の近世』を発刊しました。できる限り大和地域の江戸時代の様子が分かるように編集された内容となっています。

体裁 A5版約500ページ

料金 3,000円

販売日 9月2日(月)

販売窓口 郷土史編さん係、大和・中央・塩沢公民館



### 南魚沼産ズッキーニ・さつまいもを生かしたレシピブックの設置

【問合せ】

農林課 農業振興係

☎77316663

北里大学保健衛生専門学院管理栄養科(本田)

☎77914511

市では、地産地消の取り組みの一つとして、北里大学保健衛生専門学院と連携し、地産のズッキーニ・さつまいもを生かしたレシピ開発に取り組んでいます。開発されたレシピは製本して、8月上旬からあぐりぱーく八色と四季味わい館に設置します。

学生たちが考案したレシピを参考に、地産のズッキーニ・さつまいもをぜひ、ご賞味ください。

レシピブックは、なくなり次第終了となります。

※レシピは、市ウェブサイトに掲載予定です

